



## 平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月11日

上場会社名 株式会社プレナス

上場取引所 東

コード番号 9945

URL <https://www.plenus.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）塩井 辰男

問合せ先責任者（役職名）経営管理室長

（氏名）丸山 俊也

TEL 03(6892)0304

四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日

配当支払開始予定日 平成29年11月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年8月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	73,551	3.2	3,177	8.6	3,315	9.4	1,764	17.9
29年2月期第2四半期	71,249	△2.5	2,925	△4.4	3,031	△6.7	1,496	△19.2

（注）包括利益 30年2月期第2四半期 1,791百万円（24.1%） 29年2月期第2四半期 1,443百万円（△21.7%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	46.09	46.01
29年2月期第2四半期	39.10	39.03

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	92,972	66,525	71.0
29年2月期	92,736	66,151	70.8

（参考）自己資本 30年2月期第2四半期 65,966百万円 29年2月期 65,651百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	30.00	—	30.00	60.00
30年2月期	—	30.00	—	—	—
30年2月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,300	6.6	7,500	4.3	7,700	1.0	4,300	6.5	112.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P.10「(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年2月期2Q	44,392,680株	29年2月期	44,392,680株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	6,103,682株	29年2月期	6,111,176株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年2月期2Q	38,287,208株	29年2月期2Q	38,277,802株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 四半期決算補足説明資料の入手方法について

- ・四半期決算補足説明資料は、平成29年10月13日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 10
(追加情報)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善する中、緩やかな回復基調が続きました。

当外食産業におきましては、業種や業態の垣根を越えた顧客獲得競争の激化に加え、労働力不足による人件費の上昇等から引き続き厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、商品力の強化、効果的な販売促進活動の展開、店舗のQSC(品質、接客、清潔感)向上に努めると共に、収益力の向上、フランチャイズ展開の推進を図り、さらなる事業基盤の強化に注力しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、735億51百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は31億77百万円(前年同期比8.6%増)、経常利益は33億15百万円(前年同期比9.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億64百万円(前年同期比17.9%増)となりました。売上高につきましては、既存店売上高が前年同期実績を下回ったものの、宮島醤油フレーバー(粥)など前期末以降に連結の範囲に含めたグループ会社の売上や、新規出店により店舗数が増加したことが要因で前年同期実績を上回りました。営業利益及び経常利益につきましては、既存店売上高の減少や、I D - P O S 導入コストの発生があったものの、為替等による仕入コストの低減や効率的な広告宣伝内容への見直し等により、前年同期実績を上回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前述の影響に加え、法人税等の負担の軽減等により、前年同期実績を上回りました。

## [国内における店舗展開の状況]

	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第2四半期 連結累計期間末	改装・移転
ほっともっと	2,661店	31店	22店	2,670店	52店
やよい軒	329店	11店	4店	336店	9店
MKレストラン	32店	1店	—	33店	2店
合計	3,022店	43店	26店	3,039店	63店

(注)都市型の持ち帰り弁当店「BizLunch(ビズランチ)」は、8月末をもって全店舗退店しました。

## [海外における店舗展開の状況]

	展開エリア	前連結会計 年度末	新規出店	退店	当第2四半期 連結累計期間末
ほっともっと	中国	4店	2店	—	6店
	韓国	8店	4店	—	12店
	オーストラリア	1店	—	—	1店
やよい軒	タイ	157店	6店	3店	160店
	シンガポール	7店	—	—	7店
	オーストラリア	3店	—	—	3店
	台湾	9店	2店	—	11店
	米国	2店	1店	—	3店
	フィリピン	1店	—	—	1店
合計	—	192店	15店	3店	204店

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等) 【セグメント情報】のⅡ 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

## 【ほっともっと事業】

定番商品である「のり弁当」が平日昼限定で290円となるサービスや、人気メニューを週替わりでお得な価格でご購入いただける「週刊ほっともっと」を実施し、お客様の来店頻度向上に注力すると共に、コミュニケーションアプリLINEのほっともっと公式アカウントからキャンペーン、新商品などの情報やクーポンを配信する等、新たな販売促進活動にも取り組みました。また、生のホーリーバジルとスパイスをふんだんに入れたソースを使用し

た「ガパオライス」や、北米産ビーフステーキ、ハンバーグ、チキンステーキをワンプレートに収めた、ほっともっと最重量級のお弁当「ビフテキコンボ」を発売するなど、より魅力ある商品の提供に努めました。

一方で、収益力の一層の強化を図るため、引き続きコストの効率化を図ると共に、コンパクトでより生産性の高い店舗での出店を進めました。また、店舗の改装・移転を積極的に行いました。さらに、より精緻な顧客の購買データを蓄積するため、ID-POSの導入を行いました。

フランチャイズ展開につきましては、「ユニットFC制度」を利用して、引き続き新規オーナーの獲得及び既存オーナーの多店舗化に積極的に取り組みました。

以上の結果、売上高は、536億52百万円(前年同期比1.8%減)、営業利益26億51百万円(前年同期比9.7%増)となりました。売上高につきましては、既存店売上高の減少(前年同期比2.6%減)が要因で、前年同期実績を下回りました。営業利益につきましては、既存店売上高の減少や、ID-POS導入コストの発生があったものの、為替等による仕入コストの低減や、効率的な広告宣伝内容への見直し等により、前年同期実績を上回りました。

#### 【やよい軒事業】

素材や手づくり感にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、たっぷりの野菜を食べられるバランスの良い「若鶏と野菜の黒酢あん定食」や、牛肉の旨味と食べ応えにこだわった、選べる3種類の「ビーフステーキ定食」を発売する等、お客様の幅広いニーズへの対応を図りました。また、お客様に快適にご利用いただけるよう、店舗のQSC向上に努めると共に、テレビCMの放映を効果的に実施し、お客様の来店の促進を図りました。

フランチャイズ展開につきましては、「ユニットFC制度」を利用して、引き続き新規オーナーの獲得に積極的に取り組みました。

以上の結果、売上高は147億22百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益は7億49百万円(前年同期比43.4%増)となりました。売上高につきましては、既存店売上高の減少(前年同期比2.0%減)、直営店の加盟店への移管があったものの、新規出店により店舗数が増加したことが要因で、前年同期実績を上回りました。営業利益につきましては、為替等による仕入コストの低減等により、前年同期実績を上回りました。

#### 【MKレストラン事業】

豊富な具材と個性豊かなスープが選べるしゃぶしゃぶに、季節限定のスープや特選具材を取り揃える等、商品力の強化に努めました。また、お手頃価格の「鶏しゃぶしゃぶ食べ放題」を販売するなど幅広いお客様のニーズへの対応も図りました。加えて、店舗のQSC向上に努めると共に、テレビCMの放映やメール会員向けのキャンペーンを実施し、お客様の来店促進を図りました。

店舗展開につきましては、東京都4店舗目となる渋谷井の頭通り店をオープンいたしました。

以上の結果、売上高は16億95百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は93百万円(前年同期比25.4%減)となりました。売上高につきましては、既存店売上高が減少(前年同期比6.2%減)したものの、新規出店による店舗数の増加等により、前年同期実績を上回りました。営業利益につきましては、人件費の増加等により、前年同期実績を下回りました。

#### 【海外事業】

第1四半期連結会計期間から、連結子会社北京好麦道餐飲管理有限公司(中国)、Plenus Global Pte.Ltd.(シンガポール)、Plenus, Inc.(米国)に加え、PLENUS AusT PTY. LTD.(オーストラリア)を連結対象としております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、事業の黒字化を目指して売上の拡大とコストの最適化に努めると共に、出店を進めて事業の拡大を図りました。

以上の結果、売上高は9億11百万円(前年同期比203.4%増)、営業損失は2億55百万円(前年同期は、営業損失92百万円)となりました。

#### 【その他】

宮島醤油フレーバー(株)は調味料・加工食品のOEM(相手先ブランド名製造)を主な事業としております。また、当社グループ店舗で使用する調味料等の開発も行っております。

以上の結果、売上高は25億69百万円となりました。利益面につきましては、のれん代の償却があり、結果としては営業損失20百万円となりました。

なお、同社につきましては、発行済株式総数の55%を、前連結会計年度末をみなし取得日として取得し、子会社化いたしました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億35百万円増加し、929億72百万円となりました。内訳は、流動資産10億93百万円の減少、固定資産13億29百万円の増加であります。流動資産の減少は、現金及び預金16億87百万円の減少、受取手形及び売掛金3億34百万円の減少、商品及び製品13億15百万円の増加、未収入金3億60百万円の減少などによるものです。また、固定資産の増加は、有形固定資産18億20百万円の増加、投資その他の資産5億27百万円の減少などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1億38百万円減少し、264億46百万円となりました。内訳は、流動負債2億10百万円の減少、固定負債71百万円の増加であります。流動負債の減少は、支払手形及び買掛金8億56百万円の増加、未払金4億66百万円の減少、未払法人税等5億96百万円の減少、未払消費税等3億10百万円の減少、賞与引当金2億16百万円の増加などによるものです。固定負債の増加は、預り保証金1億4百万円の減少、資産除去債務1億82百万円の増加などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億74百万円増加し、665億25百万円となりました。内訳は、利益剰余金3億39百万円の増加などによるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ2億93百万円増加し、157億19百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ9億84百万円減少し、40億61百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益30億67百万円、減価償却費26億7百万円、法人税等の支払額20億8百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ19億31百万円減少し、26億95百万円となりました。主な内訳は、定期預金の預入による支出70億19百万円、定期預金の払戻による収入90億円、有形及び無形固定資産の取得による支出45億円7百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ22百万円増加し、11億73百万円となりました。主な内訳は、配当金の支払いによる支出11億48百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の業績予想につきましては、平成29年4月10日に公表しました数値から修正しております。詳細は、本日開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,607	21,920
受取手形及び売掛金	3,037	2,702
商品及び製品	4,217	5,533
原材料及び貯蔵品	73	277
その他	3,198	2,623
貸倒引当金	△71	△87
流動資産合計	34,062	32,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,103	31,113
その他(純額)	10,830	11,640
有形固定資産合計	40,933	42,754
無形固定資産		
のれん	1,558	1,448
その他	656	803
無形固定資産合計	2,215	2,251
投資その他の資産		
その他	15,563	15,041
貸倒引当金	△38	△44
投資その他の資産合計	15,524	14,997
固定資産合計	58,673	60,003
資産合計	92,736	92,972
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,306	7,162
短期借入金	43	21
未払法人税等	2,028	1,431
賞与引当金	364	580
役員賞与引当金	59	33
ポイント引当金	117	114
株主優待引当金	131	55
資産除去債務	54	21
その他	8,963	8,436
流動負債合計	18,069	17,859
固定負債		
長期借入金	167	154
退職給付に係る負債	58	62
資産除去債務	4,902	5,084
その他	3,386	3,285
固定負債合計	8,514	8,586
負債合計	26,584	26,446

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,461	3,461
資本剰余金	4,827	4,828
利益剰余金	69,134	69,474
自己株式	△11,910	△11,897
株主資本合計	65,513	65,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36	42
為替換算調整勘定	102	55
その他の包括利益累計額合計	138	98
新株予約権	195	237
非支配株主持分	304	322
純資産合計	66,151	66,525
負債純資産合計	92,736	92,972



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	71,249	73,551
売上原価	32,366	33,865
売上総利益	38,883	39,685
販売費及び一般管理費	35,958	36,507
営業利益	2,925	3,177
営業外収益		
受取利息	26	23
受取配当金	2	2
固定資産賃貸料	76	69
受取補償金	15	33
持分法による投資利益	7	-
その他	67	110
営業外収益合計	197	238
営業外費用		
固定資産賃貸費用	18	14
持分法による投資損失	-	44
為替差損	19	0
貸倒引当金繰入額	13	7
その他	39	34
営業外費用合計	90	100
経常利益	3,031	3,315
特別利益		
固定資産売却益	20	2
災害見舞金受取額	2	-
投資有価証券売却益	-	1
特別利益合計	23	4
特別損失		
固定資産処分損	164	119
減損損失	125	131
災害義援金等	30	-
災害による損失	22	-
その他	46	0
特別損失合計	389	252
税金等調整前四半期純利益	2,666	3,067
法人税等	1,181	1,284
四半期純利益	1,484	1,783
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,496	1,764

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	1,484	1,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	6
為替換算調整勘定	△42	2
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△1
その他の包括利益合計	△41	8
四半期包括利益	1,443	1,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,460	1,773
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	17

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,666	3,067
減価償却費	2,489	2,607
減損損失	125	131
のれん償却額	-	110
有形及び無形固定資産除却損	144	119
貸倒引当金の増減額(△は減少)	16	22
賞与引当金の増減額(△は減少)	180	216
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	-	△26
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2	△3
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△79	△75
受取利息及び受取配当金	△29	△25
為替差損益(△は益)	13	2
持分法による投資損益(△は益)	△7	44
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	-	△2
売上債権の増減額(△は増加)	229	339
たな卸資産の増減額(△は増加)	770	△1,516
仕入債務の増減額(△は減少)	236	824
その他	△419	215
小計	6,339	6,052
利息及び配当金の受取額	30	19
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,323	△2,008
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,046	4,061
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6,000	△7,019
定期預金の払戻による収入	6,000	9,000
有形固定資産の取得による支出	△4,000	△4,300
有形固定資産の除却による支出	△201	△74
有形固定資産の売却による収入	57	34
無形固定資産の取得による支出	△57	△207
貸付けによる支出	△697	△202
貸付金の回収による収入	147	137
差入保証金の差入による支出	△230	△195
差入保証金の回収による収入	347	142
その他	7	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,627	△2,695
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	-	△0
自己株式の処分による収入	-	14
配当金の支払額	△1,148	△1,148
その他	△3	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,151	△1,173
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△746	190
現金及び現金同等物の期首残高	15,827	15,425
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	136	103
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,216	15,719

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結累計期間において、主要な関係会社の異動はありません。なお、第1四半期連結会計期間において、PLENUS AusT PTY, LTD. (オーストラリア)は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	ほっと もつと 事業	やよい軒 事業	MK レストラ ン事業	海外事業	計			
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高 (その他営業収入を含む)	54,640	14,615	1,693	300	71,249	—	—	71,249
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	54,640	14,615	1,693	300	71,249	—	—	71,249
セグメント利益又は損失(△)	2,416	523	125	△92	2,972	—	△46	2,925

- (注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。  
 2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。  
 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	ほっと もつと 事業	やよい軒 事業	MK レストラ ン事業	海外事業	計			
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高 (その他営業収入を含む)	53,652	14,722	1,695	911	70,981	2,569	—	73,551
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	237	29	—	—	267	619	△886	—
計	53,890	14,751	1,695	911	71,248	3,189	△886	73,551
セグメント利益又は損失(△)	2,651	749	93	△255	3,239	△20	△41	3,177

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社1社分であります。  
 2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。  
 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の「ほっともつと事業」、「やよい軒事業」に含めていた「海外事業」について、重要性が高まったことに伴い、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。